

2022年度第1回委員会議事録

1. 日 時：2022年4月16日(土) 16:20～17:25
2. 場 所：ホテル グランデはがくれ・2F 多良 / On-line[Zoom]
3. 出席者(敬称略)：橋口委員長、康委員、工藤委員、大川委員、三浦委員、岡田委員、田畑委員、村上オブザーバー、萩原副委員長
欠席者(敬称略)：柳原委員、菊池オブザーバー
4. 配布資料：
 - ・2021年度 第4回委員会議事録
 - ・資料：2022.04.16 国際交流委員会 配布
5. 議事
 - 1) 各委員の紹介
 - ・委員会に参加の委員から自己紹介があった。
 - ・新たな委員として女子医科大学の佐藤先生を推薦し、本日の理事会にて承認された。
 - 2) 国際交流委員会の活動・経緯について
 - ・大川委員から資料を基に本委員会の活動の目的や設立の経緯を説明があった。新たな委員の方々も含めて委員会活動について理解を新たにした。
 - ・委員長から、若い方々にも参画してもらえよう本委員会の活動を継承して行く体制構築が重要であること、国際展開を進めるに戦略としては、疾患を絞って進めるのが有効との考えにたち、本年度は糖尿病を対象に活動を進めたい旨の説明があった。
 - 3) 前回議事録の確認
 - ・事前にメール配布された議事録に対して特段の意見はなく承認された。
 - 4) 第54回大会における委員会企画の国際シンポジウムについて
 - (1)今年の大会は ASCPaLM の併催であることを鑑み、初日午後(2022年10月7日 13:00～)のみの開催とする。
 - ・今回のシンポジウムは JACLaS との合同開催とし、4月14日に JACLaS との WG(JCLS：橋口委員長・康委員・大川委員・三浦委員、JACLaS：川中副理事長・岡委員長・溝口委員、杉山委員)を開催した。
 - (2)講演者について
 - ・海外講演者2名/国内講演者2名を想定しており、海外講演者の一人にはベトナムの Huy 先生にご講演を依頼している。
 - ・Huy 先生は、ASEAN 臨床検査教育協議会[AASMT]の会長で、昨年度のシンポジウムで講演をお願いしているが本年度も講演をお願いする。糖尿病関連の事業を推進するに際して、東南

アジアにおける糖尿病を専門とする先生の紹介もお願いした。また、シンポジウム参加者が少ないことの対応として、Huy 先生から関係者へ本シンポジウムの紹介もお願いした。

- ・国内講演者は委員長から、新任の佐藤委員と JACLaS からの一人にお願いする考えが示された。JACLaS からの演者には、当該企業の内容ではなく JACLaS を知って貰える内容とする。

(3)JACLaS との合同シンポジウムについて

- ・参加者が少ない対策として、JACLaS 会員にも興味を持って貰える内容(例：日本の製品や JACLaS を東南アジアに紹介する、東南アジアの検査の実情紹介)とし、参加者の増加を検討する。

(4)通訳について

- ・通訳には 100 万円を超える費用が必要であり対応が困難との説明があった。
- ・昨年は、海外講演者から事前に受領した発表スライド動画を、翻訳会社に文字起こし依頼し更に日本語化して資料配布した。
- ・通訳について JACLaS 側で対応を検討する発言もあったが、今後の継続性も考慮し経費負担が大きくなる方法で検討を進めることにする。

以上の内容を方向性として進め、次回委員会にて協議することとした。

5) アジア健康構想に関連する事業／プロジェクトとの連携活動

- ・大川委員より、今後の活動予定として糖尿病関連事業について説明があった。東南アジア諸国における糖尿病の現状と課題に、WHO や NPO などの協力の下に国家レベルで対策が進められており、本委員会としても正しく早期の検査実施の部分で事業に参画・協力ができると考えられる。
- ・東南アジアで糖尿病に係わる先生方と面談を通してネットワークを構築し、状況を把握した上で人材育成・教育支援や検査の標準化、サーベイの実施や検査実施のガイドラインの作成支援などが考えられる。
- ・三浦委員より、糖尿病領域における国際活動計画として NCGM 事業「国際糖尿病関連総合事業計画の検討」について説明があった。1)検査の普及・標準化、2)新治療法の導入→3)適正な診療方法の確立等のプロジェクトのなかで、1)と 3)の検査に関わる部分で当委員会、JACLaS などとの協力を検討する。今年の前半にインドネシアなどで現地調査を実施し、その結果を関連する学会・団体と共有した後に、パイロット的に本事業を展開する。
- ・今後、学会外の企業も含めた WG を立ち上げ、来年度以降の具体的プランを検討する活動を進めて行くことが了承された。

6. 次回委員会の開催について

- ・秋の大会(神戸)期間内の開催が予定されるが、今後の進捗に応じて開催することとした。

以上
(記録：萩原)